

## 春ばれいしょ、関東方面へ出発!



2月18日、JA鹿児島きもつきばれいしょ選果場において春ばれいしょの出発式が行なわれました。市場関係者や生産者が参加し、出荷と輸送の安全を祈願しました。式では「昨年度の価格低迷により栽培面積は減少しましたが、かごしまブランドとして発進していきましょう!」と挨拶され、関東方面へ出発しました。本年度大根占地区では、栽培面積45ha、販売数量1,035tを見込んでいます。

## 錦江町の魅力発進!

2月18日、都市農村交流の一環として鹿児島市の紫原地区にて、錦江町あつたか市を開催しました。錦江町と紫原町内会の交流は、今年で3年目と年々盛り上がる中、今回は純心短期大学の学生からも販売に協力をいただき、売り場スペースにひときわ若い売り子の声が広がり、売上げアップにつながったようです。また、今年度は錦江町産のブリ大根ならぬ、ヒラマサと大根を使ったヒラマサ大根を振る舞い、大変盛況でした。



## 商店街活性化 イベント開催

2月15日、大根占ふれあいセンターにおいて大根占中央商店街振興会と商工会青年部が中心となり商店街活性化イベントを開催しました。

「昭和」をテーマに昭和20年〜40年頃の写真や広報紙・少年団によるペットボトルキャンドルなどを展示し、懐かしい写真や記事を食い入るように見ていました。

また、商工会青年部による駄菓子コーナーや大根占中央商店街による豚汁や新たに開発されたうなぎのおにぎりなど大盛況でした。実行委員長の有川宏人さん(旭町自治会)は「今後も商店街や地域が盛り上がるイベントとして企画し地域活性化に取り組んでいきたい」と話されました。